



沖縄の魅力・再発見の旅

「まちまーい」に行ってきました

総務部調査企画課

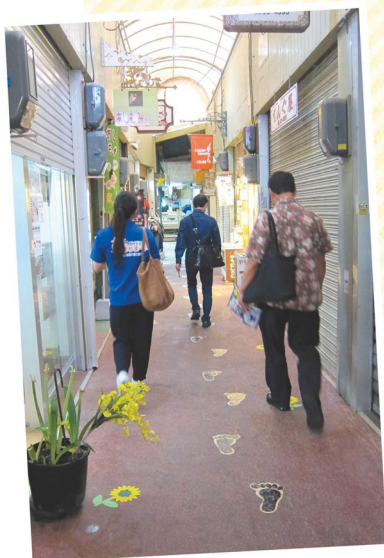
具志善次
ぐしよじつぐ

「まちまーい」とは？

「まちまーい」とは、「まちをめぐる」という意味で、有名な観光地だけでなく穴場スポットを、地元をよく知るガイドと一緒に歩きまわることです。

県内のまちまーいは、各市町村の観光協会などが中心となって企画された、地元ならではの観光プログラムで、個性豊かな文化や歴史、自然との出会いを楽しめることで、観光客はもちろん地元住民からも支持されています。

沖縄まちまーい協議会のホームページ（「沖縄まちまーい」<http://machimai.com/>）や那覇まちまーいのホームページ（「那覇まちまーい」<https://www.naha-machima-i.com>）に紹介されている中から、「まちに息づく島唄の生命力～ノリノリ♪夕暮れ民謡酒場（主催：（一社）那覇市観光協会）」と「壺屋のツボ～やちむん通りとすーじぐわーめぐり～」（主催：（一社）那覇市観光協会）」に参加しました。





市場本通りをぶらり散策

体験レポート①

「まちに息づく島唄の生命力 ～ノリノリ♪夕暮れ民謡酒場～」の巻

ハイサイ！

前々から楽しみにしていた「まちまーい」に行ってきました。

今回参加したコースは「まちに息づく島唄の生命力(ちから)ノリノリ♪夕暮れ民謡酒場」です。

このコースは、民謡酒場初心者の方お勧めのコースとして紹介されています。実は私、民謡酒場には入ったことがなく、県外の友人が沖縄に来たときに案内できるお店を探していたところでしたので、迷うことなくこのコースを選びました。事前の予約が必要であるため前日に電話しておきました。

梅雨晴れの5月、集合場所はてんぶす那覇前広場で、集合時間には「那覇まちまーい」と書かれた青

い手旗に青いポロシャツのガイドさんが待っていました。民謡酒場コースの参加者は、私と職場の後輩の新城くん、初めての沖縄に観光で来た男性とガイド見習いの男性の4名。参加者がそろったところで、ガイドさんからコースの概要などについて説明がありました。

民謡酒場コースは、沖縄音楽を支える場所を訪ね歩き、最後に民謡酒場で島唄のライブを楽しむというものです。

ガイドさんの案内により国際通りの路地裏には、三線工房や芸能小道具店など沖縄の伝統芸能を支えるお店があること、またお店の経営者の沖縄の伝統芸能への熱い思いを聞くことで、国際通りの魅力を再発見することができました。

民謡酒場(島唄ライブ・ナクニ)では「島人の宝」や「涙そうそう」などの聞き慣れた曲から、「安里屋ユンタ」などの定番曲まで、民謡ライブを楽しみました。最後の締め



民謡酒場のライブで拍手



24 歩で歩ける

「日本一短い商店街」

は「唐船ドリー」に合わせて参加者全員で力チャーシー。ノリノリで幕を閉じました。

新垣家のチブル(頭)シーサーと
記念撮影



体験レポート②

「壺屋のツボ ～やちむん通りと すーじぐわーめぐり～」の巻

前回に続き、2回目の「まちまーい」です。

梅雨の真っ只中の6月、職場の有志4名で傘を持参して集合場所の壺屋焼物博物館前に向かいました。そこでは、ガイドさんとガイド見習いの女性が笑顔で出迎えてくれました。今回の参加者のうち、先輩の二人は「まちまーい」初体験です。

今回参加したコースは、「壺屋のツボ やちむん通りとすーじぐわーめぐり」です。

このコースは、「壺屋」に残る赤瓦屋根の家や石垣の連なる「すーじぐわー(路地)」を魔よけのシーサーや石敢當を探しながらぶらぶらと歩いてみましょう。」というものです。

こちらが南又窯(フェヌカマ)です



壺屋の共同井戸ポンプと
新城くん

窯元、登り窯、壺屋陶器会館、焼物博物館などの焼き物に関する場所だけでなく、壺屋に住む人々の生活に欠かせない共同井戸や、集落を守る神様を祀った御嶽など、すーじぐわーをゆっくり歩いてまわり、ガイドさんから話を聞きました。

見慣れたすーじぐわーの風景もガイドさんの説明があると、新鮮に見えるから不思議です。

ガイドさんの説明によると、壺屋は琉球王朝時代からやちむん(焼き物)を作っていた場所。沖縄戦直後には住民の立入が禁止されたが、生活に必要な食器の生産を進めるため、壺屋の陶工が壺屋に戻ることが許された。沖縄の戦後の復興は壺屋から始まったといわれているとのことでした。

今回のガイドさんは、「那覇まちまーい」の10のコースを案内する資格を持ったベテランのガイドさんで、壺屋コースのポイントとなる場

まとめ

観光で来られた方にとって「まちまーい」は新たな発見、体験の機会だと思いますが、私のような地元の者にとっての「まちまーい」は再確認・再発見の旅・時間でした。

飛行機やバスなどの乗り物で移動して知らない土地を訪ねる旅もいいですが、こんなに身近で手軽な旅(まちまーい)もいいものです。生まれ島沖縄の魅力を再確認・再発見させてくれた一時でした。

また、コースの内容だけでなく、案内してくれるガイドさんの個性も「まちまーい」の楽しみの一つだと実感しました。

所の説明だけでなく、琉球王朝時代、戦前戦後の沖縄の歴史、路地に咲く花や植物の話など、いろいろなことを教えてくれました。